

常陸山生誕150年記念

特別展

常陸山 谷右衛門

「角聖」の生きた時代



水戸市立博物館
常陸山谷右衛門

令和6年

10月19日(土) — 11月24日(日)

水戸市立博物館4階・3階展示室

開館時間 9時30分～16時45分

休館日 月曜日および11月5日(祝) ※11月4日(月)・(休)は開館

入場料 一般200円(20名以上の団体は150円)
18歳以下、65歳以上の方、身体障害者手帳及び療育手帳、
精神障害者保健福祉手帳等所持者とその付き添いの方1名は無料、その他各種割引あり

主催 水戸市立博物館

Happy Holiday

【土・日・祝日】は 18歳以下のお子様1名につき 大人1名 無料

茨城県民の日 【11月13日(祝)】は 無料

水戸市民会館1周年記念応援事業

水戸市立博物館

〒310-0062 茨城県水戸市大町3-3-20

Tel.029-226-6521

みとしかく 検索



博物館公式 SNS



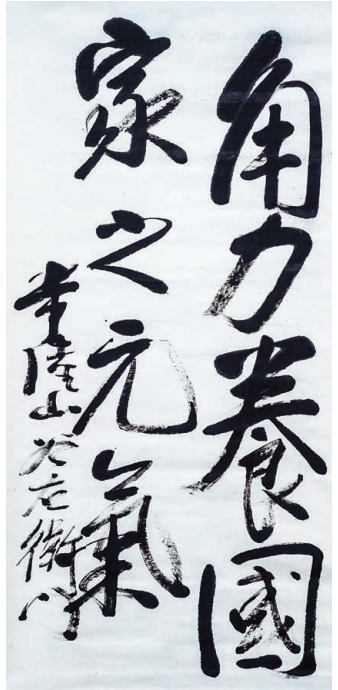
常陸山生誕150年記念 特別展

常陸山 谷右衛門

—「角聖」の生きた時代—

常陸山谷右衛門(1874-1922)は、水戸出身で明治時代から大正時代にかけて活躍した大相撲力士です。明治24年(1891)に初土俵を踏んで以来、徐々に頭角を現し、明治37年にはライバルであった梅ヶ谷藤太郎とともに横綱に昇進し、「梅常陸時代」と称される大相撲の黄金時代を築き上げました。後に、相撲(角力)界への貢献の大きさから「角聖」とも称されています。

本展覧会では、常陸山の生涯をたどり、相撲界に果たした役割を明らかにするとともに、出身地である水戸市や茨城県との関わりも紹介します。



「常陸山書『角力養良國』」 水戸市立博物館所蔵



あけに
「常陸山(出羽ノ海)が使用した明荷」
茨城県立歴史館所蔵



「筑波山登山で使用した弁当箱」 個人蔵



「筑波山頂の常陸山」 個人蔵



「常陸山・梅ヶ谷大相撲の図」 茨城県立図書館所蔵(茨城県立歴史館寄託)

関連行事

歴史ツアー 常陸山ゆかりの地を訪ねる

筑波山や那珂湊・大洗に残る常陸山ゆかりの史跡をバスで訪れます。

日時: 令和6年11月21日(木) 8時30分～17時15分

定員: 20名/参加費: 4,370円

募集: 10月18日(金)までに、往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し

水戸市立博物館へ、または水戸市立博物館ホームページから
いばらき電子申請にてお申し込み(1グループ2名まで)

※抽選結果は、申込者全員にお知らせします。



ギャラリートーク

担当学芸員が本展の見どころを解説します。

日時: 令和6年10月20日(日)、11月3日(祝)、

11月16日(土)、11月24日(日)

各日とも11時～11時45分、14時～14時45分

会場: 水戸市立博物館4階展示室

講師: 藤井達也(当館学芸員)

※申込み不要、時間までに会場にお集まりください。

※入場券が必要です。

ごいっしょに

筑波山拳兵160年記念 みと歴史講座

元治元年(1864)の筑波山拳兵から160年の節目に合わせ、筑波山拳兵や水戸藩の内紛を取り上げた歴史講座を開催します。

第1回 筑波山に集った者たち

令和6年12月1日(日) 13時30分～16時

天狗騒乱と筑波山に拳兵した人々

久信田喜一氏(茨城地方史研究会会長)

飯田軍蔵とその娘・古宇(こう)

額賀せつ子氏(茨城地方史研究会会員)

会場: みと文化交流プラザ6F大会議室/参加費: 無料/定員: 200名/募集: 10月17日(木) 9時から電話受付、先着順

第2回 村・町から見る水戸藩の幕末騒乱

令和6年12月21日(土) 13時30分～16時

豪農の記録に見る村の幕末騒乱 一高部村大森家・野口村関沢家を中心に一

高村恵美氏(常陸大宮市教育委員会)

幕末騒乱の中の水戸城下 一城下町人の記録から一

藤井達也(当館学芸員)

申込方法等の
詳細は
水戸市立博物館
ホームページを
ご確認ください

水戸市立博物館

〒310-0062 茨城県水戸市大町3-3-20

Tel.029-226-6521

みとしかく 検索



交通案内

JR・バス ▶ JR水戸駅から大工町方面行きバスで南町三丁目下車、常陸太田方面へ徒歩10分
クルマ ▶ 常磐自動車道水戸インターまたは那珂インターより水戸方面へ20分
▶ 常磐自動車道水戸北スマートインターより水戸方面へ10分
駐車場 ▶ 約20台(無料・中央図書館と共用)
満車の場合は周辺駐車場(有料)をご利用ください

